

◎今後の課題

学校給食運営における今後の課題として、正規調理員の定年退職による職員の減が見込まれる。昭和60年1月の国の指針に基づき、合理的な運営方法を模索する中で、現在、再任用職員1名を含む正規調理員10名と午前14名、午後8名のパート職員を採用し、安心・安全な学校給食の提供に努めているが、今後10年間の退職予定人員は「表1」のとおりである。

【表1】今後10年間の定年退職予定人数（再任用含まず）

退職年度	職 種	年度当初人員	退職人数	繰越人員
平成30年度	正規調理員	9名	0名	9名
平成31年度	正規調理員	9名	1名	8名
平成32年度	正規調理員	8名	2名	6名
平成33年度	正規調理員	6名	0名	6名
平成34年度	正規調理員	6名	2名	4名
平成35年度	正規調理員	4名	1名	3名
平成36年度	正規調理員	3名	0名	3名
平成37年度	正規調理員	3名	1名	2名
平成38年度	正規調理員	2名	1名	1名
平成39年度	正規調理員	1名	0名	1名

※「表1」によると、今後5年間（平成34年度末）で給食調理員5名が定年退職となり、現状との比較では半分以下になる。